

科目名 Course Name	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I Social Work Theory and Methods (Expert) I			ナンバリング No.	I3-002		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本講では、ソーシャルワークの理論と方法 I・II を踏まえ、社会福祉士として専門的に学ぶ内容を具体的に深めていく。</p> <p>①社会福祉士として多様化・複雑化する社会状況の特徴を述べるができるようにする。 ②多様化・複雑化する課題を分析できるようにする。 ③社会資源活用の意義を学び、社会資源の開発まで発展できるようにする。 ④ソーシャルアクションの意義を学び、ソーシャルアクションの方法について例証できるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料とリアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	相談援助活動の対象の特徴と援助技術を列挙でき、知識と技術がどのように活用されているのかを確認できる。					
	L03	事例のなかで活用されている援助技術や各援助技術の関連を明確にできる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:「ソーシャルワークの理論と方法【社会福祉専門】」中央法規						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30				
レポート/作品							
発表							
小テスト							
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。		30	40			
その他							
合計			60	40			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 援助関係の意義と概念(ソーシャルワーカーとクライアントシステムの関係)
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認。テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
2	授業内容	援助関係の形成方法(自己覚知と他者理解)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:不登校児に関する資料を読み、自己分析と児童の理解を深めておく。
3	授業内容	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:ラポール形成に関する資料を読み、普段の自分の態度を分析する。
4	授業内容	社会資源の活用・調整・開発②(ニーズ集約、提言、計画策定)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと 事後:テキストの該当部分を読み直し、資料を確認する。
5	授業内容	社会資源の活用・調整・開発③(計画策定、実施、評価)
	事前・事後学習	事前:前回の課題をグループで確認しておく。 事後:事後レポート。
6	授業内容	ファミリーテーションの意義、目的、方法、留意点①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	ファミリーテーションの意義、目的、方法、留意点②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
8	授業内容	ネゴシエーションの意義、目的、方法、留意点
	事前・事後学習	事前:居住地の社会資源を調べる。 事後:居住地の社会資源の活用をシュミレーションする。
9	授業内容	プレゼンテーション① プレゼンテーションの意義、目的
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
10	授業内容	プレゼンテーション②方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	プレゼンテーション実施【佐野市連携事業】 外部講師:佐野市教育センターSSW 大山裕明氏 船田千恵子氏
	事前・事後学習	事前:プレゼンテーションの準備。 事後:プレゼンテーションへのコメント、評価の振り返りを行う。
12	授業内容	ソーシャルアクションの意義、目的、方法
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
13	授業内容	ソーシャルアクションの方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	家族支援の実際(家族支援の目的、方法、留意点【佐野市連携事業】)
	事前・事後学習	事前:グループごとに規定の課題を仕上げておく。 事後:グループごとに課題実施後の振り返りを行う。
15	授業内容	家族支援の実際(家族が抱える複合的な生活課題)【佐野市連携事業】
	事前・事後学習	事前:グループごとに規定の課題を仕上げておく。 事後:試験勉強